(様式第3号)

企業・団体名(東急リゾーツ&ステイ株式会社 斑尾東急リゾート)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

	_		**												
	カテゴ	チェック項目	取組	【非該当】	【予定】の		1 2	3 4 5	6	7 8	9	10 11 12	13	14 15 16	17
	ゴリ		レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	2 ==	3 11/11	6 ::::::	7 8 M	\$ HATTE	10 II	13:::::	15 to	₩ **
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制 を整備し、差別がないことを確認している	基本			社内外に相談窓口があり、ポスターを掲示して周知している。		5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3		16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相 談体制を整備している	基本			同上		5.1 5.2 5.5		8.5 8.8				16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			超過勤務が長時間に及んだ場合、本人と上長、必要に応じて関係者を加えた面談を実施し、健康状況を確認するとともに改善案を相談し実施している。				8.5 8.8					
	=	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			5か国より、技能実習生や留学生を雇用しており、寮にて共同生活を送っている。 心身ともに健康で働けるよう声がけやフォロー体制がある。		4.4		8.7 8.8		10.2			
	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでい る	基本			毎月、安全衛生委員会を産業医を加えて実施し、その時期の注意事項や状況を確認し、議事録は、従業員に周知している。		3		8					
	· 労	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			社内外に相談窓口があり、ポスターを掲示して周知している。メンタル疾患により求職に及んだ場合は、復職委員会を行い、復帰に支障がないよう留意している。		3							
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環 境の整備に取り組んでいる	基本			5か国より、技能実習生や留学生を受け入れている。 定年以降も希望する従業員を雇用し年齢、国籍、性 別を問わず活躍の場がある。		5.1 5.5		8.5		10.2			
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内研修を定期に実施するとともに、自己啓発に係 費用の一部を会社が負担する制度がある。		4 5.5		8	9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			原則に沿って運用している		5.5		8.5		10.2 10.3			
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断を春に実施し、所見のあった者への二次検査を促すとともにオンラインでの生活指導を実施している。		3		8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			分別処理を行うとともに、コンポストを導入し食物残材 のリサイクル(たい肥化)を行っている						11.6 12.4		14.1	
12	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			自社にエネルギーチェックを行う仕組みがあり、本社 への定期報告を行っている。				7.3			13		
	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			同上				7.2 7.3		12.4	13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使 用に取り組んでいる	基本			同上		3.9	6.3			11.6 12.4			

	カ	では、「非幹当」「予定」の 目体的な取組							主なSDGs	(17	'ゴールと169	ターゲット)	関連項目		
	テゴ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組	1 2				7 8 9			15 1	6 17
	ゴリ	アエック· 坦 日	選択入力 選択入力 (『非該当》を選択した場合はこちらに理由記載	1 m 2 m 4 m	3 ##### -W\$	4 mm 5 mm ©	A :::::::::	7 CONTROL 8 DUCK *** *** *** *** *** *** ***	10 cotton 11 cotton 12 cotto	18:::::	16 2	*			
15		【生物多様性】・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			上下水道施設を事業所内で運営しており、日々の状況確認と定期的な水質検査を行い、生態系に影響を与えない 様配慮している				6.6				15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			食物残材をコンポストにて分解し、自社で栽培している野菜のたい肥として活用している。						12.5	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			上下水道施設を事業所内で運営しており、利用状況 について日々チェックしている。				6.4 6.6					
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得して いる	チャレンジ	【非該当】		取得していない		3.9		6	7	12	13.3 14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			全社及び親会社にてスローガンを掲げ取り組み事例を 適時情報発信している。						12.6			
20	_	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			親会社の東急不動産にて再エネ事業に参画している					7.2		13		
21		【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			上下水道施設を事業所内で運営しており、利用状況 について日々チェックし持続的に調達できるよう確認している						12.2	13 14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			コンプライアンス研修を年に数回E-ラーニングにて実施し意識の啓蒙を図るとともに定期に社内外の監査を行い防止に努めている									16 6.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			同上								1	16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			同上					8.2 8.3 9				
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			同上								1	16
	慣	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している								1	16
27	ŀ	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系 への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防 止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			コンプライアンス研修を年に数回E-ラーニングにて実施し意識の啓蒙を図るとともに定期に社内外の監査を行い防止に努めている			5		8	10 12	13 14	15 1	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表してい る	基本			親会社の東急不動産株式会社にて「パートナーシップ 構築宣言」を作成・公表している。		3			8 9	10			17

Ī		チェック項目	取組レベル	【非談当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (『非該当』を選択した場合はこちらに理由記載)	1 2	-	4		6	ゴールと 7 8					15 16	
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			レストラン厨房において定期に社外チェックを実施し、 改善点は、速やかに改善している		3.9							12.4			
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			客室や施設の改修を適時実施し、多種多様なニーズ に対応できるよう、計画的に実施している							9					
31	・ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			恵まれた自然環境を活かしたアトラクションやイベント を企画し実施している					6				12 13	14	15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			省人力と効率化、利便性の向上を目的として自動精 算機の導入や無人売店の運営を行っている	1 2	3	4	5	6	7 8	9 10	11	12 13	14	15 16	17
33	41	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域の雇用推進、地元食材の活用、所在自治体との タイアップイベントを通して地域と関わっている			4				9	11	12	14	15	17
34	地域貢献・社会貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			グループ全体での募金活動を適時実施し社会貢献			4					11		14	15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			地元の食材を積極的に取り入れ、数量目標を定めて 取り組んでいる						8	9	11	12 13			
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			社内イントラネットやポスターにて周知し理念や経営目標の浸透に取り組んでいる						8	9					17
37	•	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本			本社にコンプラインス部門があり、社内啓蒙や研修の 実施に取り組んでいる											16	
38	•	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本			責任者、CSR管理者を任命している											16	
39	組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及 ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全 体)	基本			適宜ステークホルダーとの対話を行い、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し対応している											16	17
40	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			自社内外にてリスクの洗い出しと評価を行い、適切な 対策を講じている。											16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組 んでいる	チャレンジ			地元自治体と連携し、責任を持った対応に取り組んでいる。											16	
42		【事業継続】・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			全社基準で事業継続計画(BCP)を策定し、各事業に合わせたカスタマイズを行い、定期に訓練を実施している。							9	11	13 13.1		16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいる						8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 (6 7	8	9	10	11	12 1	3 14	15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ 登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづく りエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証 制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定